

油の付着した洗濯物に注意してください！

オイル等が染み込んだ衣類やタオルを洗濯したあとで、衣類乾燥機で乾燥させると、洗濯物に残っていたオイルが酸化反応を起こして発熱・発火に至る可能性があります。

■酸化反応による発熱及び自然発火のメカニズム

美容オイル、食用油、動物油等の油は、空気に触れると酸化して熱が発生します。

この熱を酸化熱といいます。酸化熱は蓄積することで温度が上昇し、一定の温度に達することで自然発火に至ります。

オイル等が染み込んだタオルは常時酸化反応が起こっていますが、常に外気にさらされて放熱されていれば自然発火に至りません。

しかし、衣類乾燥機による乾燥が終了した洗濯物を衣類乾燥機の中に入れてそのままにすると、放熱されない酸化熱が蓄積し、自然発火に至るおそれがあります。

■事故を防ぐために

- 1 美容オイル、食用油、動物油等の付着した物は絶対に乾燥機で乾かさないうでください。
- 2 上記の衣類等を洗った後は、必ず広げて自然乾燥とするようにしてください。
- 3 クリーニング業者へ依頼するときは、事故を防ぐため上記の衣類は出さないでください。



■洗濯物に限らず発煙・発火に注意を

オイルが染み込んだタオル、塗料やワックスを拭き取った布、油が染み込んだ紙等を山積みしたり、容器にまとめて入れたりしておく、酸化反応により発熱し、発火する危険があります。

油が付着した物は重ねて保管しないよう、注意してください。



問い合わせ先
千曲坂城消防本部
予防課 予防係
電話 (代)026-276-0119